

OIKONOMIKA

Vol. 49 No. 2

March 2013

In Commemoration of Professor Yuta Hoshino

Dedication to Professor Yuta Hoshino	Toru Mori (1)
The Impact of IFRS on Corporate Strategy and Performance Measurement : A Case of Japanese Companies	Yuta Hoshino (5)
A Significance and Problems of Integrated Reports : From the Viewpoint of Strategic CSR and Management Control Systems	Takayuki Asada (25)
Escritos para un Estudio Comparativo Internacional del Profesión Contabilidad : Un Resumen de la Situación en España	Kenji Shiba (35)
Aligning Strategy and Operation with Balanced Scorecard	Kazunori Ito (47)
Research on the Relationship between the Basic Strategy and Profitability by the Data of the Seasoning Companies	Koichi Saito (69)
The Effect of Pension Accounting on Corporate Pension Asset Allocation : Analysis for Japanese Firms Adopting U. S. Standards	Kazuo Yoshida (79)
The Effect of Fair Value Accounting for Financial Liabilities : A Case Study of Citigroup Inc.	Junpei Ogawa (89)
A Study on the Recognition of Intangible Assets : From the Perspective of Internal Consistency	Jiro Takahashi (121)
Prof. Yuta Hoshino's Curriculum Vitae and Works	(145)

The Society of Economics
NAGOYA CITY UNIVERSITY
Nagoya Japan

オ
イ
コ
ノ
ミ
カ

星
野
優
太
教
授
退
任
記
念
号

第
四
十
九
卷

第
二
号

オイコノミカ

第 49 卷 第 2 号 2013 年 3 月

星野優太教授退任記念号

献辞	森 徹 (1)
IFRS の導入が企業の戦略と業績測定に及ぼす影響 ——日本の製造業を中心に——	星 野 優 太 (5)
統合的報告の意義と課題について ——戦略的 CSR とマネジメントコントロールシステム研究の視点から——	浅 田 孝 幸 (25)
会計専門職に関する国際比較研究のための覚書 ——スペインの監査の概要——	柴 健 次 (35)
バランスト・スコアカードによる戦略と業務の連動	伊 藤 和 憲 (47)
企業の基本戦略と収益性の関係についての研究 ——調味料会社のデータにもとづいて——	斎 藤 孝 一 (69)
退職給付債務の即時認識と年金資産の運用政策 ——アメリカ会計基準採用企業の分析——	吉 田 和 生 (79)
金融負債の公正価値評価の影響 ——Citigroup の事例——	小 川 淳 平 (89)
無形資産の認識可能性に関する一考察 ——整合性分析の観点から——	高 橋 二 朗 (121)
星野優太教授 経歴・業績・学外活動	(145)

名古屋市立大学経済学会

本誌は、名古屋市立大学経済学会が、経済学・経営学およびその隣接諸科学の発展に寄与することを目的として、年 4 号出版し、関係学術機関、名古屋市立大学経済学会会員ならびに予約購読者に配布するものです。

本誌への投稿、本会との資料交換、およびその他の事務については、名古屋市立大学大学院経済学研究科内「オイコノミカ」編集委員会（〒 467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1 番地、Email：oikono@econ.nagoya-cu.ac.jp）宛てにご連絡ください。

編 集 委 員

河 合 篤 男
出 口 将 人
板 倉 健
澤 野 孝一朗
小 川 淳 平
大 神 正 道

執筆者紹介

星 野 優 太	名古屋市立大学大学院経済学研究科教授
浅 田 孝 幸	立命館大学経営学部教授
柴 健 次	関西大学大学院会計研究科教授
伊 藤 和 憲	専修大学商学部教授
斎 藤 孝 一	南山大学経営学部教授
吉 田 和 生	名古屋市立大学大学院経済学研究科教授
小 川 淳 平	名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授
高 橋 二 朗	名古屋市立大学大学院経済学研究科講師

第 1 条	本会は、名古屋市立大学経済学会と称する。
第 2 条	本会は、経済学・経営学並びにこれに関連する学術の研究を促進することを目的とする。
第 3 条	本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。 1. 機関紙「オイコノミカ」の発行。（季刊） 2. 研究会及び講演会の開催。 3. その他本会の評議員会が適当と認める事業。
第 4 条	本会の会員は次のとおりとする。 1. 正会員 a. 名古屋市立大学大学院経済学研究科の教授、助教授、専任講師及び助手。 b. 名古屋市立大学大学院経済学研究科に在学する博士課程前期・後期学生及び修士課程学生。 c. 名古屋市立大学大学院経済学研究科及び経済学部の退職者またはこれに準ずる者であって会員になることを希望する者。 d. 名古屋市立大学に研究員として在籍する者。 2. 学生会員 名古屋市立大学経済学部に在学する学生。 3. 賛助会員 a. 名古屋市立大学経済学部卒業者及び経済学研究科修了者であって、本学の事業を賛助する者。 b. その他本会の事業を賛助する者であって、本会の評議員会が適当と認める者。
第 5 条	会員は、機関紙「オイコノミカ」の配布を受ける。ただし学生会員は除く。
第 6 条	会員は、それぞれ本会の評議員会が定める会費を納めるものとする。会費は別にこれを定める。
第 7 条	会員のほかに予約購読者をもうける。予約購読者は、本会の評議員会が別に定める予約購読料を納め、機関紙「オイコノミカ」を受ける。
第 8 条	機関紙「オイコノミカ」に掲載された論文等記事の著作権は名古屋市立大学経済学会に帰属する。
第 9 条	本会に次の役員を置く。 1. 会長 会長は幹事の互選によりこれを定める。会長は本会を代表し、会務を総理する。 2. 評議員 名古屋市立大学大学院経済学研究科教授、助教授及び専任講師とする。評議員は、評議員会を組織し、学会の重要な会務を審議する。評議員会は会長が招集する。 3. 幹事（若干名） 評議員会の委嘱によりこれを定める。幹事は庶務、会計、編集を分担する。 4. 監事（1 名） 評議員会の委嘱によりこれを定める。監事は本会の会計を監査する。 5. 書記（若干名） 評議員会の決議を経て委嘱する。
第 10 条	前条 3, 4, 5 に定める役員の任期は、すべて 2 か年とする。ただし、重任を妨げない。
第 11 条	本会は、事務所を名古屋市立大学大学院経済学研究科内に置く。
第 12 条	会則の改正、変更はすべて評議員会の決議を経なければならない。
	附 則
	この会則は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。
	附 則
	この会則は、昭和 53 年 2 月 1 日から施行する。
	附 則
	この会則は、平成 8 年 4 月 1 から施行し、第 4 条 1, 3 の規定は平成 9 年度入学者から適用する。
	附 則
	この会則は、平成 14 年 8 月 1 から施行する。

評議員	板倉健、伊藤亮、井上泰夫、茨木智、白杵政治、大神正道、大野幸一、小川淳平、神山眞一、河合篤男、河合勝彦、川端康、木谷名都子、木村匡子、坂和秀晃、澤野孝一朗、下野由貴、高橋二郎、田中彰、角田隆太郎、出口将人、外谷英樹、中山徳良、濱口泰代、藤田菜々子、星野優太、程島次郎、松村文人、三澤哲也、向井清史、村瀬英彰、森田雄一、森徹、焼田党、山本奈央、山本陽子、横山和輝、吉田和生
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

オイコノミカ 第 49 巻 第 2 号

平成 25 年 3 月 31 日発行

編 集 者 名古屋市立大学経済学会
〒 467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町
字山の畑 1 番地

印 刷 所 株式会社 ク イ ッ ク ス
名古屋市熱田区桜田町 19-20
電話 (052) 871-9190 (代)